

令和2年度
ながさき地域医療人材支援センター
長崎県離島・へき地医療支援センター
事業報告書

長崎大学病院
地域医療支援センター

1. スタッフ

センター長	高山 隼人
医 師	渡邊 毅
医 師	原口 雅史（～令和2年12月）
医 師	塩田 純也（令和3年1月～）
事 務	小坂 哲也
事 務	大平 真弓
事 務	小川 久美
事 務	片山 奈菜（～令和2年10月）
事 務	森 まどか（令和3年3月～）

2. ながさき地域医療人材支援センター委託業務内容

(1) 医師不足状況等の把握・分析に関すること

県内の医師不足状況や地域偏在等を把握・分析するため調査事業を実施

地域医療を志向する医師の情報収集や蓄積

(ア) 国保レセプトデータから見た診療科別必要医師数が COVID-19 の影響でどのように変化したかの検討

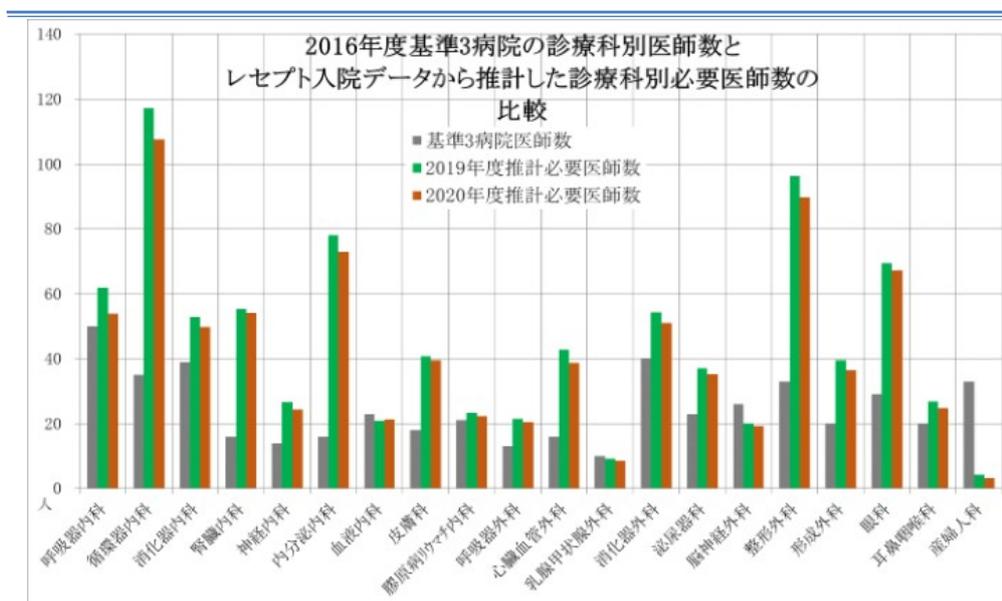
〈目的〉

長崎県と連携して国保レセプトデータによる受療状況から「専門性の高い疾病の入院患者数に対する必要医師数の推計」を実施したが、COVID-19 感染拡大によって受診や入院にどのように影響したかを検討する。

〈結果〉

COVID-19 前(2019 年度)と中(2020 年 4 月から 12 月)における専門性の高い疾病の入院患者数に対する必要医師数を比較した。血液内科以外の診療科は、減少しており、COVID-19 感染拡大による受診や入院の抑制が反映していると考えられる。

4-2. 専門性の高い疾病の入院患者数に対する必要医師数の推計



※基準3病院医師数は、『専門性の高い疾病における診療科別の必要医師数の推計に関して 平成29年度 報告書』からの再掲

専門性の高い疾病における診療科別の必要医師数の推計に関して

ながさき地域医療人材支援センター

【資料 1】

(イ) 離島の医師不足状況の把握

〈目的〉

厚生労働省が2年に1回三師調査を実施しているが、結果報告が1年後になることから、長崎県として離島における最新の医師数を早期に把握するため、医師数調査を行った。

〈結果〉

	医療施設 医師数	H30年12月末 人口10万対	医療施設 医師数 (時短含)	R01年12月末 人口10万対
全 国	311963	246.7		
県 計	4108	306.3		
五 島	75	214.3	65	185.9
上五島	31	147.6	33	183.3
吉 岐	41	157.7	48	188.2
対 馬	54	180.0	52	177.3
離島部	201	179.5	198	183.7

【資料2】

(ウ) 登録医の推進活動

令和3年3月末現在 55名

- ・令和2度のパンフレット送付時に同封
- ・辞令交付式での説明 など

(令和2年3月末 55名)

(2) 医師不足病院への支援に関すること

登録医等を大学・中核・へき地等の病院を循環させながら、医師のキャリア形成支援を図るとともに、医師不足病院へ斡旋・紹介する。また、大学の人事配置等を決定する会議等に、ながさき地域医療人材支援センターが参画し、関与する。

(ア) 医師不足病院に対する診療援助

平戸市立生月病院に対し、しますけっと団の医師を10回派遣

(イ) 医師不足病院に係る医師の斡旋・医療機関見学

【資料3】

〈実績〉

見学 0名

(令和元年度 見学2名、2施設)

〈成果〉

成立 0名

(令和元年度 成立0名)

(ウ) 医師募集説明会

【資料4】

9月27日(日) Web説明会 県庁

Web説明会参加者：3名

事務局等出席者：高山以外-長、小坂、井邑係長、黒田主任主事、

佐世保市総合医療センター 3名、上五島病院 1名、

新上五島町新魚目診療所 1名

10月17日(土) Web説明会 県庁

Web説明会参加者：4名

事務局等出席者：高山以外-長、小坂、井邑係長、黒田主任主事、
佐世保市総合医療センター 2名、新上五島町新魚目診
療所 1名

(令和元年度 参加者4名(東京))

(工) 医師からの求職等の照会

【資料5】

照会件数 32件

(令和元年度 56件)

(才) 面談医師数

延べ10名、実質9名

(令和元年度 延べ10名、実質9名)

(力) 地域医療継続支援事業

近年、全国的に若手医師の都市部への偏在が指摘されている。若手医師を一定数確保している長崎市、佐世保市、大村市の基幹病院は周辺の医師不足地域をカバーする役割を果たしているという側面があるが、都市部周辺以外の医療圏では医師不足だけでなく医師の高齢化も進んでおり、医師不足地域に医師を確保することは喫緊の課題となっている。

・令和元年度アンケート調査を実施

令和2年3月 長崎県医師会員に対して配付

配付枚数 3300枚 令和2年4月末締め切り

報告書作成

【資料6】

11月医師会、診療科、行政に配布した。

・承継情報のHP掲載

令和元年12月より医師会の承継情報を提供頂き、当センターHPに掲載開始し、毎月更新した。

(キ) ながさきキャリア・デベロップメント支援事業

【資料7】

専門医として医療に携わってきた中堅医師～ベテラン医師が、不安なく、地域を“幅広く総合的に診る”ことができるように、総合診療医へのキャリア・デベロップメントを支援する。

令和元年度は4つの研修領域の到達目標を作成し、令和2年度にPRを行う。

〈成果〉

・当センターHPに掲載

・日本医師会新聞に掲載

- ・出展ブースや Web 広告ブースに掲載

(3) 医師のキャリア形成支援に関すること

地域医療に従事する医師のキャリア形成の支援への取組

(ア) 医学文献複写サービスの提供

依頼件数 28 件（文献総数 88 件）

（令和元年度 依頼件数 24 件（文献総数 127 件））

(イ) 長崎県における総合診療専門医の育成・支援に関する長崎県総合診療専門医養成連携プログラム推進事業

① 総合診療専門医養成推進委員会 【資料 8】

総合診療医を育成支援する長崎県版モデルプログラムを有効活用するための体制作り並びに活用推進の方策及び連携プログラムに参加する後期研修医を増やすための方策の具体案を検討する。

活動状況

第 1 回委員会：令和 2 年 8 月 3 日（月）

第 2 回委員会：令和 3 年 3 月 2 日（火）

② 遠隔指導システム 【資料 9】

指導医が、遠隔地で研修する専攻医に対して遠隔指導システム（V-CUBE ミーティング 5）を利用してカンファランスや面談を行う。

令和 2 年度の活用実績 14 回

内訳：カンファランス 3 回、研修会 2 回、会議 6 回、面談 1 回、その他 2 回

（令和元年度 活用実績 56 回）

③ 指導医・専攻医のためのセミナー 【資料 10】

指導医が専攻医や研修医、医学生に適切な指導を行うための研修を行う。

- ・第 3 回ポートフォリオ研修会

令和 2 年 9 月 26 日（土）

講師：大西 弘高 先生 東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター

指導医：22 名

専攻医：14 名

- ・第 4 回ポートフォリオ研修会

令和 3 年 3 月 20 日（土）

講師：大西 弘高 先生 東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター

指導医：21 名

専攻医：15 名

④ 医学生のためのセミナー

【資料11】

• 第1回セミナー(Web)

令和2年10月29日 18:00-19:00

テーマ「腰痛」

参加学生 7名

• 第2回セミナー

令和2年11月26日 18:00-19:00

テーマ「嘔気・嘔吐」

参加学生 6名

• 第3回セミナー

令和3年1月21日 18:00-19:00

テーマ「失神を極める」

参加学生 7名

• 第4回セミナー

令和3年2月24日 18:00-19:00

テーマ「胸痛」

参加学生 9名

• 第5回セミナー

令和3年3月24日 18:00-19:00

テーマ「全身の倦怠感を伴った食思不振の症例について」

参加学生 3名

⑤ 地域枠学生生活動支援事業

【資料12】

長崎大学医学部地域枠学生が、長崎県の医療ニーズや医師のライフスタイルを学んでもらうために、指導医らと意見交換し、県内での地域医療に従事するためのモチベーションを高める。

令和2年度地域枠活動報告会

テーマ：地域医療への理解を深めた上で、ライフプランを考える

～地域枠学生どうし交流を深めよう～

日時： 第1日目…令和2年10月 2日(金)16:45～19:00

第2日目…令和2年10月 9日(金)16:45～18:50

内容： (ア) 地域活躍する医師からの病院紹介・意見交換

(イ) グループワーク

⑥ 長崎県内で働く医師を増やすための研修事業

【資料13】

1. 医学生地域見学実習

医療系学生が短期滞在型の地域見学を行う。

〈実績〉

見学者370名(1週間見学273名、4週間見学97名)

新型コロナウイルス感染症の拡大の関係で見学実習が中止となった時期があり、オンラインでの指導をいただいた。

(令和元年 見学者 487 名 (1 週間見学 247 名、4 週間見学 240 名))

2. 離島医療教育研究会

実習に参加した学生のアンケート結果を指導者にフィードバックし、離島医療教育の現状と課題を議論する。

新型コロナウイルス感染症の拡大の関係で、4 地区での開催は中止された。

(ウ) 長崎県後期研修プログラム構築推進事業

① 説明会

- ・「長崎県専門研修概要説明会」

開催日： 7 月 26 日 (日)

会 場： 長崎大学病院

※ 新型コロナウイルス感染症、感染拡大防止のため中止

② 専攻医登録システム「キャリアシステム」

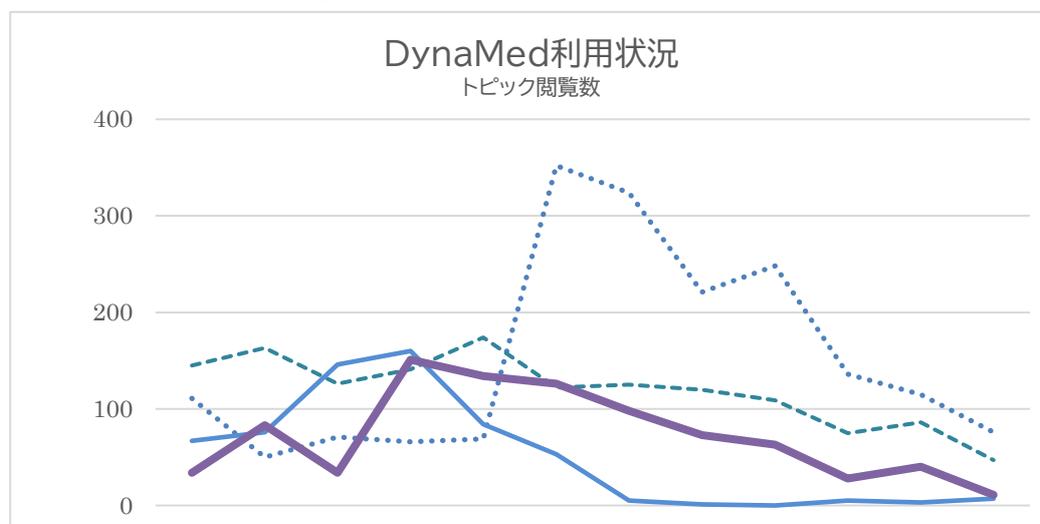
令和元年度より開始した専攻医の登録作業を各基幹施設で実施

1. 長崎大学病院 75 名
2. 長崎医療センター 11 名
3. 上戸町病院 1 名

(令和元年度 長崎県内 87 名)

③ EBM ツールの利用

キャリア形成支援目的で、専門研修プログラムやキャリア形成支援利用登録を行った医師に、EBM ツールを提供して長崎県内での定着に繋げる。



(工) 新専門医制度に対応した専攻医確保事業

① 専門研修見学等旅費助成事業

【資料 14】

県内病院見学及び医局説明会への参加者累計 22名

見学先別累計：長崎大学病院 21名、佐世保市総合医療センター1名

旅費助成の対象者 17名

〈成果〉

長崎県内プログラム採用数 6名（60% /研修医2年次見学者10名）

採用施設：長崎大学病院5名、佐世保市総合医療センター1名

（令和元年度 長崎県内プログラム採用数 16名（44%）

採用施設：長崎大学病院15名、長崎医療センター1名）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、見学受入れ中断や見学者からの見学キャンセルが相次いだため、見学数の減少となった。

(4) 求人情報の発信及び相談対応に関すること

(ア) 各種学会での医師募集及び情報発信

① 学会（医師募集ブース開設）

学会名	開催日	会場	来訪者数
第11回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会	5/29-31	広島国際会議場	WEB 開催
第23回日本臨床救急医学会 総会・学術集会	8/27-28	国土舘大学 梅ヶ丘及び世 田谷校舎（東京）	WEB 開催
第28回日本消化器関連学会 週間JDDW2020	11/5-20	神戸国際展示場1号館、3号 館神戸）	ハイ ブリッド 開催
第48回日本救急医学会総会・ 学術集会	11/18-20	岐阜メモリアルセンター（で 愛ドーム）（岐阜）	46
第24回日本救急医学会九州 地方会	12/20	長崎大学医学部 （福岡市からの発信）	WEB 開催
第48回日本集中治療医学会 学術集会	2/12-14	神戸ポートピアホテル（神 戸）	WEB 開催
第26回日本災害医学会総会・ 学術集会	3/15-17	国際医療福祉大学東京赤坂 キャンパス（東京）	WEB 開催
計			46

(注)・第11回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会については出展予定であったが、WEB開催に変更となったため出展しないことに決定（4月）

・第23回日本臨床救急医学会総会・学術集会については出展予定であったが、開催場所が東京であるため、参加しないことに決定（6月11日）→最終的には、Web開催となった。

・第28回日本消化器関連学会週間JDDW2020については、ハイブリッド形式

(現地とWeb)開催となり、商業展示が見送られたため参加しないこととなった。
(7月28日)

- ・第48日本救急医学会総会・学術集会については、ハイブリッド形式(現地とWeb)開催となったものの、商業展示が実施されたため、参加した。
- ・第24回日本救急医学会九州地方会はWeb開催で、福岡市からの発信となった。
- ・第48回日本集中治療医学会学術集会は、Web開催となったことから、Web展示により医師募集の広報活動を実施した。
- ・第26回日本災害医学会総会・学術集会は、Web開催となったことから、Web展示により医師募集の広報活動を実施した。

② 学会(ポスター・パンフレット掲示)

- ・予定していた学会がWeb開催となったため、実績なし。

(イ) 医療情報誌への医師募集及び医師募集説明会の掲載

【資料 15】

① 医師募集説明会広告

- ・日本医事新報への掲載(10回(7月~10月))
- ・メディカルトリビューンへの掲載(5回(8月~10月))

② 医師急募(募集)広告

- ・日本医事新報(急募)(16回(4月~3月))
- ・防衛医科大学同窓会誌(2回(7月、12月))
- ・リクルートドクターズキャリア(1回(10月))
- ・総合診療(1回(1月))
- ・レジデントノート(3回(1月、2月、3月))
- ・Gノート(1回(2月))
- ・プライマリ・ケア(1回(3月))

(ウ) 求人情報サイトによる情報発信

【資料 16】

① 医師募集説明会広告

- ・民間医局バナー広告(8/1~10/16)
- ・e-doctorメルマガ(6回(8月~10月))
- ・リクルートドクターズキャリアメルマガ(1回(10月))

② 医師急募(募集)広告

- ・民間医局バナー広告(6/1~7/31)
- ・e-doctorバナー広告(8/1~9/30)
- ・e-doctorメルマガ(3回(1月~3月))
- ・リクルートドクターズキャリアメルマガ(5回(11月~3月))
- ・エム・エス・ピーアーテックバナー広告(1/15~3/16)

3.長崎県離島・へき地医療支援センター委託業務内容

専任医師：高山隼人

- (1) 代診医の診療派遣、斡旋等の連絡調整に関すること 【資料 17】
診療所医師が学会出席や休暇取得などによる不在となる場合に要請を受け、専任医師の派遣又は“しますけっと団”による代診医の斡旋を行う。
＜代診、診療応援＞
派遣・斡旋件数 41件（斡旋日数 122日）
（令和元年度 斡旋件数 68件（斡旋日数 278日））
- (2) 県内離島診療所への常勤医師の斡旋・紹介に関すること 【資料 3】
〈実績〉
見学2名、3施設：松浦市立福島診療所、佐世保市総合医療センター黒島診療所、
佐世保市総合医療センター宇久診療所
（令和元年度 見学5名、延べ7施設）
〈成果〉
成立3名（うち、1名は令和2年3月見学者）
（令和元年度 成立2名）
- (3) 離島・へき地の医師募集に関すること
「2(4) 求人情報の発信及び相談対応に関すること」を参照
- (4) その他
(ア) 令和2年度 全国へき地医療支援機構等連絡会議（Web会議）
令和2年9月4日（金） 県庁
出席者 高山
(イ) 令和2年度 長崎県へき地医療支援計画策定等会議
令和2年9月4日（金） 県庁
出席者 高山、小坂